



病態の理解から展開する整形領域の離床・ADLアップ

脊椎編

プロから鋭い視点を学ぼう! 脊椎疾患へのアプローチ

講座コードR43

～細やかな“気遣い”評価が患者を救う～

2020年10月18日(日)10:00~16:10

会場：インターネット生ライブ中継

講師：瀧田 勇二先生(白金整形外科病院)

対象：看護師・PT・OT・ST(左記以外も受講可)

受講料：一般 12,800円(税込) 会員 9,800円(税込) ※先着順
定員になり次第締切

腰部へのアプローチ、すべて同じになつていませんか？

たしかに機能解剖と運動学は大切。でも、正常をもとに考えていると、腰”だからというだけで、アプローチがみんな同じに…ワンパターンの介入は、当然、患者さんの状態を悪くします。そんな解決策は「病態を理解して丁寧に評価すること」。この講座では代表的な脊椎疾患の病態を手掛かりに、画像読影・触診のポイントからリハビリの仕方まで、わかりやすく解説。多彩なアプローチを実現します。さあ、あなたも第一線のプロから診るべきポイントを学んで、コメディカルとしての「引き出し」を増やしてみませんか？



脊椎疾患をマスターする病態別プログラム



押さえておきたい！ 脊椎リハの基礎知識



・脊椎リハの肝はTwo column theory

～レントゲン側面像から展開する積極的リハビリテーション～

・覚えておくべき脊椎手術の目的と合併症

・整形リハの登竜門！痛みのみかたと薬物療法の基礎知識

腰椎分離症

・目指すのは癒合？それとも無痛性偽関節？

CT・MRIからリハ方針を決定しよう

・分離からすべりに移行するのはこんな症例

レントゲン正面像の読むべきポイント



外傷性頸部症候群(いわゆる むちうち症)

・運動療法を保留すべき危険なボーダーラインはここだ！

・もう怖がらない！評価のポイントと積極的可動域練習

やってみよう、即効簡単アプローチ

・薬が効かない頭痛に対する評価とADL指導のしかた

頸椎後縦靭帯骨化症

・脊髄症と神経根症を鑑別して実現する先読みリハ

・できていますか？

頸髄症患者の寝具の評価適切な指導



腰椎椎間板ヘルニア

・中間位？伸展位？腰部の肢位はMRIを観て決める！

・短期決戦？長期戦？

MRIで髓核の脱失度合いからADLを見極める

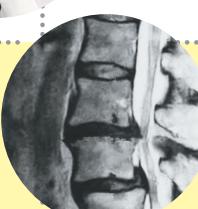
脊髄性歩行障害

・痙性歩行障害がある場合の離床重症例から学ぶ

痙性歩行の特徴と予防策

・失調性歩行障害への介入

後索路障害に対するエクササイズの決め手はコレ



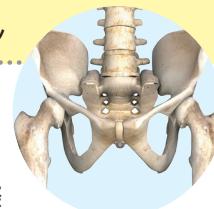
脊椎圧迫骨折

・むしろ椎弓を読む！画像読影のポイント

・固定術後はココを診る！

隣接関節を活かした

BKP後のリハビリテーション



仙腸関節障害

・特有な痛みを見抜け！

意外とシンプルな評価ポイント

・これは使える！簡単・即効徒手療法の実際

※この講座は離床アドバイザーリハビリテーションコースの理論コース1単位を取得できます。

申込方法

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送

申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレルビル2F

ホームページ <https://www.rishou.org/>

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683 Eメール jsea@rishou.org

